

事後評価結果（平成19年度）

担当課：北海道開発局建設部道路計画課
担当課長名：山口 登美男

事業名	一般国道334号 浦士別道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自：北海道網走市字栄 至：北海道網走郡大空町東藻琴村明生	延長	3.7 km		

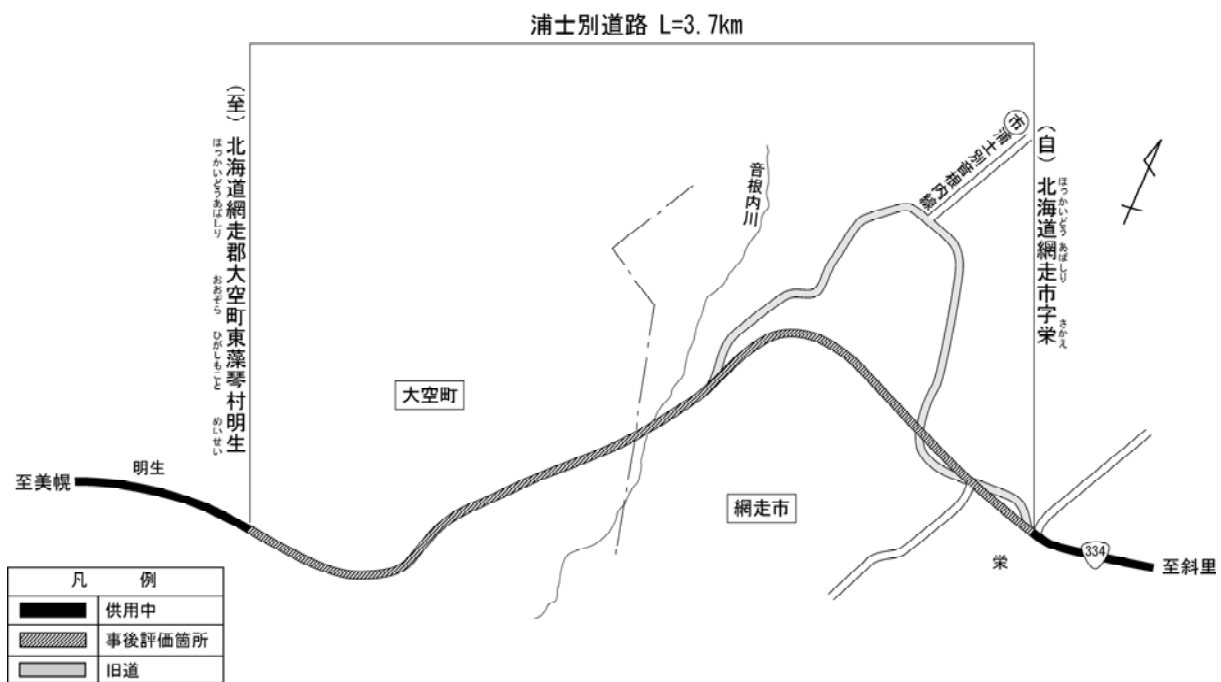
事業概要

一般国道334号は、羅臼町から美幌町に至る延長約121kmの幹線道路であり、知床と美幌・網走方面を結ぶ観光や物流における重要なアクセスルートとなっている。このうち浦士別道路は、網走市と大空町境界に位置する延長3.7kmの事業である。

事業の目的・必要性

浦士別道路は、現道の線形不良区間の解消、主要な観光地へのアクセス向上、農林水産品の流通の利便性向上に寄与するものである。

事業概要図



事業の 効果等	事業期間	事業化年度	H元年度	用地着手	H元年度	供用年	(当初) - / H14年度	変	動 1.0倍	
		都市計画決定	一年度	工事着手	H2年度	(暫定/完成)	(実績) - / H14年度	動		
	事業費	計画時	(名目値) - / 19.9億円	実績	(名目値) - / 20.0億円			変		動 1.0倍
		(暫定/完成)	(実質値) - / 20.6億円	(暫定/完成)	(実質値) - / 20.7億円			動		
	交通量 (当該路線)	計画時 (供用前現道)	2,116 台/日		実績 (供用後現道)	2,475 台/日				変
旅行速度向上 (供用前現道→当該路線)	53.5 → 54.1 km/h (供用前年次) H2年度 (供用後年次) H17年度		交通事故減少 (供用前現道→当該路線)		48.0 → 0.0 件/億台キロ (供用前年次) H4~6年平均値 (供用後年次) H15~17年平均値					
費用対効果 分析結果 (事後)	B/C	1.9		総費用	31億円 (事業費: 29億円 維持管理費: 1億円)		総便益	59億円 (走行時間短縮便益: 51億円 走行経費減少便益: 6億円 交通事故減少便益: 1億円)		基準年 平成19年
事業遅延によるコスト増	費用増加額		-		億円		便益増加額	-		億円
事業遅延の理由	-									

	<p>客観的評価指標に対応する事後評価項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現道等における交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等による安全性向上の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・当該事業の整備により急勾配・急カーブ部が解消され、安全性が向上した。 【死傷事故率の変化】整備前 48.0→ 整備後 0.0 (件/10台年) ●主要な観光地へのアクセス向上による効果 <ul style="list-style-type: none"> ・女満別空港と世界自然遺産知床の最短経路を結ぶルートとして、近隣の周遊観光ルートとしてアクセス性が向上し、地域に観光振興に寄与している。 ●農林水産業を主体とする地域における農林水産品の流通の利便性向上の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・当該事業の整備により、農産物の輸送の利便性が向上した。 ●対象道路の整備により、削減される自動車からのCO2排出量 <ul style="list-style-type: none"> ・CO2削減量 508 t-CO2/年 <p style="text-align: right;">他5項目について効果の発現が見られる</p>
	<p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>特になし</p>
<p>事業による環境変化</p>	<p>環境影響評価に対応する項目</p> <p>環境影響評価、対象外事業である。</p> <p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>特になし</p>
	<p>事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人口・産業等の社会経済情勢の変化 <ul style="list-style-type: none"> ・大空町、小清水町において、人口は減少している。 【大空町】 人口 9,238人 (H2) → 8,392人 (H17国勢調査) 【小清水町】 人口 6,758人 (H2) → 5,753人 (H17国勢調査) ・大空町、斜里町の観光入込客数は増加している。 【大空町】 観光入込客数 約72万人 (H12) → 約81万人 (H17北海道観光入込客数調査) 【斜里町】 観光入込客数 約162万人 (H12) → 約169万人 (H17北海道観光入込客数調査) ・大空町、小清水町における農業産出額は増加している。 【大空町】 農業産出額 約138億円 (H2) → 約163億円 (H16北海道農林水産統計) 【小清水町】 農業産出額 約102億円 (H2) → 約119億円 (H16北海道農林水産統計)
	<p>今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性</p> <p>浦士別道路の整備により、安全性の向上、観光地へのアクセス向上、物流の効率化など、整備に伴う効果が発現されている。よって、今後の事後評価の必要性はない。</p> <p>また、改善措置の必要性はないが、今後も利用しやすい道路環境の確保に努め、適切な維持管理を実施し、そのコスト縮減に努める。</p>
	<p>計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性</p> <p>特に同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性はない。</p>
	<p>特記事項</p> <p>特になし</p>

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。